

令和5年7月7日

7月7日からの大雨

山口県連絡会議

下関地方気象台

大雨に厳重警戒

- 7日から10日頃にかけて、梅雨前線が停滞。数日間同じような地域で雨が続き、長期間の大雨となるおそれ。激しい雨や非常に激しい雨が降り、広い範囲で警戒レベル4相当の土砂災害警戒情報などを発表する可能性。
- 期間中の総雨量は6月29日から7月1日の大雨を超える可能性もあり甚大な災害が発生するおそれがあり厳重な警戒が必要
- 洪水氾濫、内水氾濫、土砂災害に厳重に警戒が必要！
- 河川の水位（上昇）に応じた情報に基づき、迷わず・空振りを恐れず避難行動を！
- 各自治体の情報等を取り入れ、明るい時間での避難、早めの避難行動に備えてあらかじめ準備をお願いします。

7日から10日頃にかけて 梅雨前線が停滞

- 6月29日から7月1日の記録的な大雨の影響が残る中、7日から10日頃にかけて梅雨前線が山口県を含む九州北部地方に停滞する予想です。特に8日から9日にかけては梅雨前線の活動が活発になり山口県では大雨となるおそれがあります。数日間同じような地域で大雨が続き、長期間の大雨となるおそれがあります。
- 期間中の総雨量は6月29日から7月1日の大雨を超える可能性もあり、雨の降り方によっては、甚大な災害が発生するおそれがあり厳重な警戒が必要です。記録的な大雨となり、大規模な河川でも氾濫するおそれもあります。
- 6月29日から7月1日の大雨により、地盤の緩んでいるところや、すでにながけ崩れなどが発生しているところがあります。また河川においては橋や護岸の損傷や浸食、変状等の可能性、いつもよりも土砂や礫などの堆積が多くなっている可能性があります。
- そのため、土砂災害警戒区域や洪水の浸水想定区域などでは、少しの雨でも大きな災害が発生するおそれがあります。
- 躊躇せずに身の安全を第一に早めの判断、適切な行動をとってください。

予想される降水量、警報級の可能性(大雨)

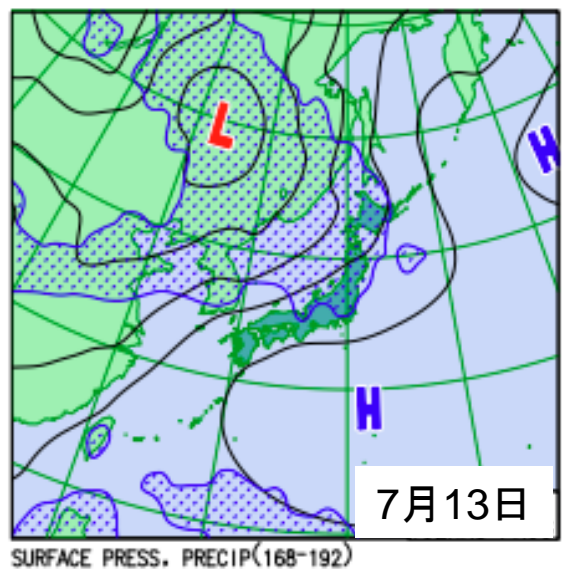
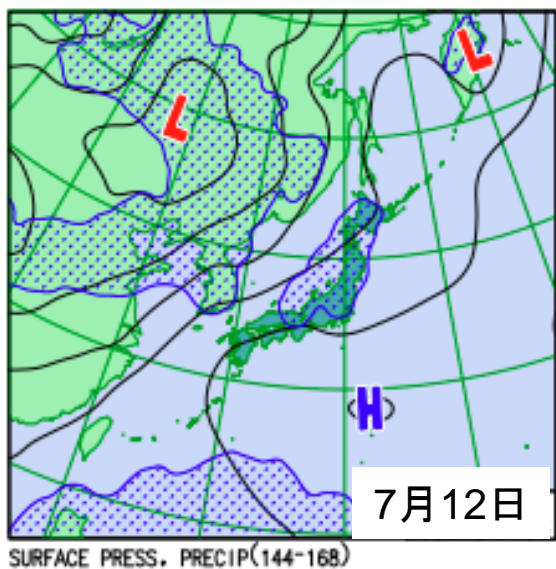
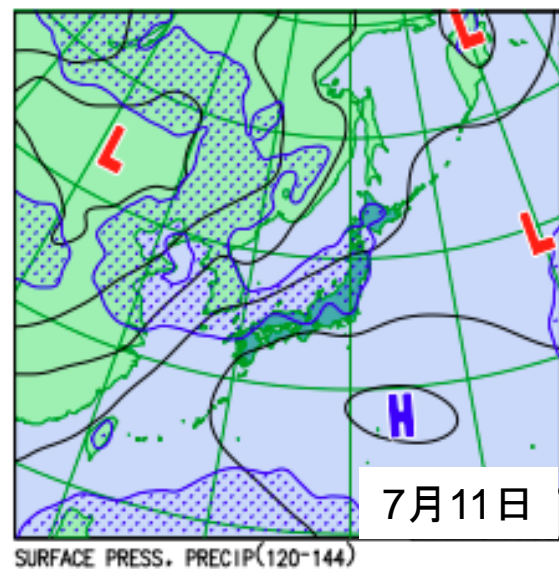
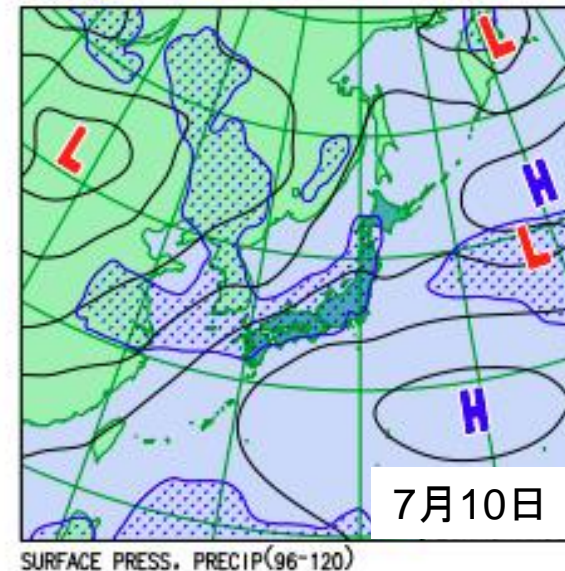
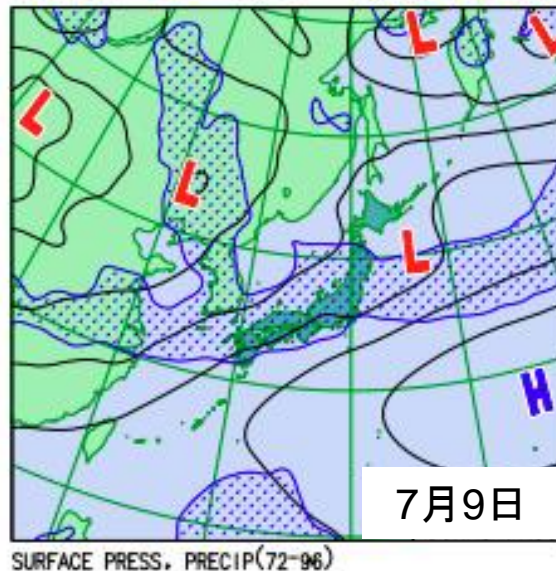
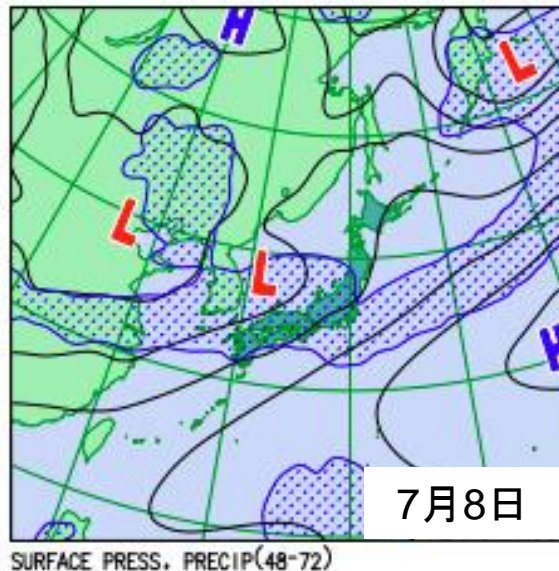
		7日		8日								9日
		18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
		夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	
警報級の 可能性 (大雨)	西部			中	中	中	中	高	高	高	高	高
	中部			中	中	中	中	高	高	高	高	
	東部					中	中	中	中	中	中	
	北部			中	中	中	中	高	高	高	高	
大雨 1時間最大 (ミリ)	西部	30	30	20	30	30	30	60	60	40	30	激しい雨 非常に激しい雨 続く
	中部	30	30	20	30	30	30	60	60	40	30	
	東部	30	30	20	30	30	30	40	40	30	30	
	北部	30	30	20	30	30	30	60	60	40	30	

降水量(ミリ) いずれも多いところ

	7日 1時間最大	8日 1時間最大	7日18時から 8日18時最大24時間	8日18時から 9日18時最大24時間	9日18時から 10日18時最大24時間
西部	30	60	200	200から300	50から100
中部	30	60	200	200から300	50から100
東部	30	40	180	200から300	50から100
北部	30	60	200	200から300	50から100

※7日夕方予報に合わせ調整中、7日夕方の最新の情報を確認ください

週間天気図



L: 低気圧、H: 高気圧
 : 降水が予想される範囲

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認して
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石
流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうち
に急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉
市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して
氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が
決壊したりすると、広範囲が長時間浸水
するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾
濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、
浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

